

Shanada-ia

vol. 33

サンポートホール通信
【季刊シャ・ラ・ラ】

2011年冬季号
<http://www.sunport-hall.jp/>

- 佐藤しのぶ ソプラノ・リサイタル
「カルメン・ファンタジー」
- サンポートホール高松 デビューリサイタル
- 瀬戸フィルアンサンブル ティータイムコンサート
- 平成24年度 文化ボランティア募集
- デリバリーアーツ



影絵劇

「みなみのうみのおとぎばなし」

いろいろな公演の『出前』を無料でやっているデリバリーアーツ。今年度最後の公演は、コブクロの大ヒット曲「蕾」のPVや、映画「クロサギ」などで話題になった劇団かかし座の影絵劇です。デリバリーアーツは入場無料で、年齢制限もありませんので、0歳のお子さまから入場できます。ぜひご家族みなさんでお気軽にお越しください。



～南太平洋からやってきたゆかいでふしぎな3つのおはなし～

第1話「パプアのはじまり」

(パプアニューギニア)
太平洋の海でのんびりと暮らす一匹の海がめ。ある日、「ここに島があったらどんなに楽しいだろうなあ」と考えます。そして…。とっても楽しい南の国の創世神話。

第2話「はたけのパナナはだれのもの」

(インドネシア)
サルとシカが仲良くバナナを植えました。サルは木の芽を食べてしまうので、バナナはちっとも育ちません。シカのパナナにはおいしいそうなお実がたくさん！そこでサルは、実をとってやろうとシカに持ちかけますが…!?

第3話「大サメとしょうねん」

(ポリネシア)
人食いザメがすんでいる海では、魚一匹捕れませんが、ある日ひとりの少年が、その海を見ながらいいことを思いつきました。そして、大きな石を手に、海へ向かって叫んだのです！少年の知恵と勇気の物語。



2012年

2月25日(土) | 14:00開演
三谷コミュニティセンター (高松市三谷町1201-1)

26日(日) | 14:00開演
さぬきこどもの国 (高松市香南町由佐3209)

*いずれの公演も、開場は開演の30分前、公演時間は約1時間の予定です。
*来年度のデリバリーアーツは、詳細が決まりましたらサンポートホール高松のホームページなどでお知らせします。

ホール・ガイダンス

申込方法

- 窓口にて、使用許可申請書に必要事項を記入してください。
- 会議室、和室、リハーサル室、練習室はサンポートホール高松施設予約管理システム(インターネット)より仮予約ができます。
※ホール、市民ギャラリー、コミュニケーションプラザは不可
<http://www.reserve-sunport-hall.jp/bunyusr/usr>

申込受付時間

- 施設利用のご相談 … 9:00～17:30
- 施設使用申請・お支払い・利用者登録 … 9:00～17:00

申込受付期間

使用日の1年前の月の初日から、使用日の前日まで。

受付の順位

原則として先着順です。
ただし、受付開始日(毎月1日)については、抽選により順位を決定します。
詳しくは「ご利用案内」や財団ホームページをご覧ください。

<http://www.suport-hall.jp/>

さんぽーとCLUB

会員だけのうれしい特典やお得なサービスがいっぱい!
1年中いつでも入会できます。

会員期間 1年間 会費 年会費 1,000円

特典 ★サンポートホール高松のプレイガイド窓口でのご購入に限りです。

- チケットに関する特典
 - ・財団が指定するチケットを、一般発売に先立ち優先的に予約または購入できます。
 - ・財団が指定するチケットを、原則上限20%割引をした会員価格で購入できます。
※割引率は公演によって異なります。
※会員価格で購入できるのは、会員お一人様5枚までです。
- 入会時の特典
 - ・入会と同時に、財団が指定するチケットを購入する場合、一般価格および学生価格から1,000円引きの価格で購入できます。
※ただし、1,000円引きで購入できるチケットは1枚までとし、初回入会時のみとします。
※1,000円引きでチケットを購入と同時に、会員お一人様4枚までを会員価格で購入できます。
※1,000円引きの特典が適用されない場合もあります。
- その他の特典
 - ・財団が発行する情報誌や、催し物案内等を定期的にお届けします。
 - ・財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。



入会の手続き

- ご来館によるお申し込み
入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松のプレイガイド窓口にお申し込みください。
- 現金書留によるお申し込み
入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松友の会事務局宛てに現金書留で郵送してください。

会員期間について

会員期間は、入会日から1年を経過した日の属する前月の末日までです。以後、会員期間を更新するときは、その翌月の初日から1年間とします。

佐藤しのぶ ソプラノ・リサイタル
「カルメン・ファンタジー」

日時	2012年1月28日(土) 13:00開演 (12:30開場)
会場	大ホール
チケット	一般 4,500円 会員 4,200円 学生 2,500円 (小学生以上高校生以下) 全席指定



世界を舞台に活躍する佐藤しのぶのデビューは、鮮烈でした。ヴェルディの『椿姫』で注目されて以来、今も美しく舞台映える華やかな容姿と、ドラマティックな歌唱力、迫真の演技で、オペラファンのみならず多くの人々を魅了し続けています。

結婚し、一人娘を授かってなお、円熟した舞台でひときわ輝き続ける魅力は、どこにあるのでしょうか？

— 幼い頃からピアノを習っていたそうですが、音楽に進んだきっかけは？

音楽高校に入るときに歌のテストがあり、初めて声楽科の先生にレッスンを受けに行きました。そこで「一緒に勉強しよう」と先生がおっしゃってくださり、すばらしい先生に出逢い一遍に魅了されて、どうしてもこの先生のもとで勉強したいと思ったのが、きっかけです。

— 国立音楽大学で声楽を学び、文化庁オペラ研修所を首席で修了。オペラ歌手になろうと思ったのはいつ頃ですか？

オペラを意識したのは、音楽高校へ進んで、マリア・カラスのレコードを毎日聴いていたときからでしょう。高校生の私にとって、イタリア語もよくわからないのに、彼女の歌声だけで、その表情や、動きがドラマとして浮かび上がってくることに、衝撃を受けました。そのあと、メトロポリタン・オペラの来日公演で、テバルディとコレッリの出演された「ラ・ボエーム」を見たのが決定的だったかもしれません。

オペラ歌手になれるなどとても思えませんでした。気がついたら歩み始めていたということでしょうか。

— オペラの醍醐味、また演じる難しさとは？

オペラの醍醐味は、「音楽の創り出すドラマ」の魅力だと思います。というのは、私は恋に落ちるようにオペラという魔法に心を奪われたのです。理由を分析出来ません。時間を経て、総合芸術であるオペラの真の偉大さ、人間の肉体と精神の極みから生まれる奇跡の瞬間、そし

て、時空を超えたその普遍的なテーマによって、人が、より成長させられる思考や哲学をもったものであること、またオペラ上演までの、多くの人達とともに作りあげてゆくチームワークの素晴らしさなどに次々と目覚めてゆき、ますますオペラの虜になっています。

オペラを演じるためには、私は、健全な肉体と健全な精神が、まず一番大事だと思っています。このふたつをそろえるだけでも結構大変です。演奏家はアスリートと同じで、肉体を通じて表現するわけですから、日々の積み重ねが演奏に表れると思います。

— 「カルメン・ファンタジー」では、カルメンとミカエラの二役を歌いますが、カルメンとミカエラは、どのような女性ですか？

カルメンというと、「ファム・ファタール」といって、男性にとって運命の女です。日本では男性を破壊させる悪女という印象が強いと思うのですが、カルメンは魔性の女であって悪女ではないと思っています。彼女はジプシーという特別な環境に生まれました。その中で命を精いっぱい輝かせて生きます。彼女はいつも、自分に対して正直で嘘をつかない。

ミカエラという女性は、メリメの原作には出てこないのですが、カルメンというキャラクターを際立たせるために、オペラで初めてビゼーが登場させたのです。対比させることによって、作品により深みを持たせたのだと思います。

ミカエラは社会的であり、規範を守る、非常にカトリック的な、善なるものの象徴として登場します。ホセはミカエラを妹のように愛していますが、男性として心を動かされない。ですから、ビゼーは「女性」というものが持つ両面を描きたかったのではないかと思うのです。象徴的に分けることによって、より深く考えさせる作品にしたのではないのでしょうか。

— お子様生まれてから、音楽に対する取り組みに変化はありましたか？

— 最後に、佐藤さんにとって「歌う」とは、どういうことですか？

自分の弱さと戦いながらも、歌は私を育ててくれます。喜びも苦しみも与えてくれ、歌を通して人とつながれる。本当に歌は素晴らしいもの。

自己と戦い、皆様に少しでもよい歌をお届けできるように生きています。歌うことをなにより優先する生活です。生きるという求道です。

— ファンの皆さんへ。

高松の皆様にお目にかかることを楽しみにしております。劇場という空間で、共に魂と魂が触れ合う、素晴らしい瞬間を感じていただけますよう、全身全霊で歌わせていただきます。一人で二役を歌うという特別なプログラムをお楽しみいただければ嬉しく思います。どうか、生の歌声をご堪能ください。

— 今後、どのような活動をしていきたいですか？

一人は皆の為に、そして皆は一人の為に生きているということを伝え続け、歌い続けたいです。

曲目		
オペラ「カルメン」より G. ビゼー ～カルメンとミカエラ ふたりの女～		
【第1部】		【第2部】
♪前奏曲	♪ジブシーソング	♪間奏曲
♪ハバナ	♪ホセとカルメンの二重唱	♪ミカエラのアリア
♪ホセとミカエラの二重唱	♪花の歌	♪カルメンの死
♪セギティリヤ	♪2幕フィナーレ	
♪間奏曲		

※都合により、一部曲目が変更になる場合がございます。

子どもが生まれた時は、今考えると、歌手にとって非常に大きなチャンスなときでしたが、娘を授かったことは、本当にありがたいことだと思っています。主人とも話しましたが、素晴らしい仕事をするのも確かに嬉しいのですが、娘を授からなかった自分の人生というのは考えられない。だから、何の後悔もありません。

— 世界の子どものためのコンサートや、CDや書籍の収益を世界の恵まれない子供たちに寄付していますね。佐藤さんにとってのボランティア活動とは？

世界中のさまざまな問題で苦しむ子どもたちや大人に、私で力になれることがありましたら、社会の中で少しでもお役に立てる活動も積極的にし続けてゆきたいと思っています。今こうして自分があるのは全て皆様のおかげです。そのためにも、毎日、大切に精進を続け、今日よりも明日、明日よりもあさつと、焦らず、たゆまず、怠らず、誠実に歌い続けてゆきたいと思っています。

佐藤しのぶ
Shinobu Sato

「椿姫」でデビュー。文化庁派遣による芸術家在外研修員として、ミラノへ留学。

その後「トスカ」、「蝶々夫人」などのタイトルロールを次々に演じ、ブラチスラヴァ国際フェスティバル80周年のオープニングに、「トスカ」のタイトルロールで招聘され、ヨーロッパデビューを飾る。その後、ウィーン国立歌劇場での「蝶々夫人」を皮切りに、ケルン市立歌劇場やベルリン・ドイツ・オペラなどヨーロッパ各地で公演。1996年韓国政府から初めての日本人正式招聘歌手として、5万人のソウルスタジアムでチョンミンファン指揮KBOと共演。1997年の新国立劇場開場記念公演「建・TAKERU」の乙橋姫役で出演。

1999年プラハにて世界首脳が列席の中、「ピロード革命10周年記念演奏会」でアシュケナージ指揮、チェコフィルと共演し、ニュースとして世界に放映。2005年8月「被爆60年平和巡礼コンサート」(長崎・広島)、2009年4月「天皇皇后両陛下ご成婚50周年 & ご即位20周年記念コンサート」に出演。また、2009年11月「天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典」に出演し、3万人を前に歌う。

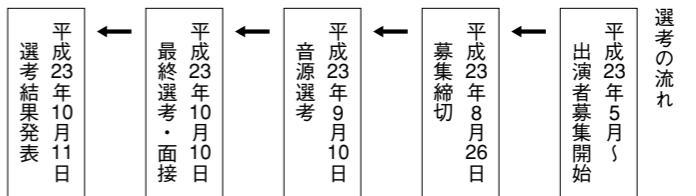
共演した指揮者は、コリン・デイヴィス、クリスティアン・ティレマン、クリストフ・エッシュェンバッハ、小澤征爾、エリアフ・インバル、シャルル・デュトワ、ピンカス・スタインバーク等、オーケストラはローマ・サンタチエチーリア国立アカデミー管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、シカゴ交響楽団など枚挙に暇がない。

文化放送音楽賞、都民栄誉章、ジロー・オペラ賞大賞、マドモアゼル・バルファム賞、Federazione Italiana Cuochi、日本文化デザイン賞大賞等を受賞。

テレビ神奈川「佐藤しのぶ 出逢いのハーモニー」のパーソナリティを務め、今年13年目を迎える。CDは11枚リリース。著書に「佐藤しのぶ 出逢いのハーモニー」、「歌声は心をつなぐ」(東京書籍)がある。これらの収益は世界の恵まれない子供たちに寄付され、現地の井戸や学校教室の設立、医療等に役立てられている。2012年5月8日アクロス福岡にて、毎年恒例の母の日コンサート「佐藤しのぶが母の教え給いし歌」を予定。

サンポートホール高松 デビューリサイタル

日時 2012年3月20日(火・祝) 18:00開演 (17:30開場)
会場 第1小ホール
チケット 一般 1,000円 学生 500円 (小学生以上大学生以下)
 全席自由



地元音楽家にデビューのチャンスを…

サンポートホール高松では、平成23年度から新たなプログラムをスタートさせました。次代を担う香川県出身の音楽家を公募し、音楽家としてのキャリアをサポートするプログラムです。応募資格は、「リサイタル」デビュー前の音楽家で、香川県出身者または在住者であること。8月の募集締切時には、声楽、ピアノ、フルート、サクソフォン、クラリネット、チューバ、作曲など、幅広いジャンルから多くの応募がありました。

そして、音源選考・最終選考を経て、2名の音楽家がサンポートホール高松でリサイタルデビューを飾ることが決定しましたので、ご紹介いたします。香川県から生まれた将来有望な音楽家を、ぜひ応援してください。なお、本年度は公益財団法人松平公益会の特別協賛を得て実施します。

第1部 吉岡 千恵 (サクソフォン)

●天国の月	長生淳
●コンサート曲集 Concert Pieces [Valse Erica, Sax-O-Phun, Saxophobia]	R.ヴィードフ
●歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ	G.プッチーニ/須川展也

第2部 國方 里佳 (ソプラノ)

●すみれ	D.スカルラッティ
●誘い	G.ロッシェーニ
●フランスセレナータ	R.レオンカヴァッロ
●歌劇「つばめ」より ドレッタの夢の歌	G.プッチーニ
●歌劇「シチリア島の夕べの祈り」より ありがとう、愛する友よ	G.ヴェルディ
●歌劇「トゥーランドット」より 氷のような姫君の心も	G.プッチーニ
●歌劇「リゴレット」より 慕わしき人の名は	G.ヴェルディ
●歌劇「トスカ」より 歌に生き、恋に生き	G.プッチーニ

ソプラノ 國方 里佳

Rika Kunikata

高松市立高松第一高等学校音楽科を経て、日本大学芸術学部卒業、同大学院修了。1990年、香川ジュニア合唱協会東独政府招聘巡回公演に参加。1992年同協会訪澳団に参加。2001～2006年、サンタキア国際音楽アカデミー日本支部主催イタリア・ベルカントマスタークラス受講。2001・2003・2004年、同アカデミー主催マスタークラス受講(イタリア・カザルマジョーレ)。ディプロマ取得。2005年、ハイドンフェスティバルin志度においてハイドンアカデミー管弦楽団と共演。2007年、オーストリアのアイゼンシュタットにてハイドンアカデミー管弦楽団定期演奏会に志度ホール少年少女合唱団が招かれ、ベルゴレージ「スターバト・マーテル」のソプラノソリストとして共演。2009年、サンポートホール高松開館5周年記念事業「カルミナ・ブラーナ」にソプラノソリストとして出演。2011年、第30回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会(なるとの第九)にソプラノソリストとして出演。第12、14回日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。オペラ「愛の妙業」「ラ・ボエーム」「修道女アンジェリカ」「ジャン・スキッキ」「トゥーランドット」「ドン・ジョヴァンニ」「ファルスタッフ」等に出演。現在、志度音楽ホール少年少女合唱団指導者。四国二期会正会員。



サクソフォン 吉岡 千恵

Chie Yoshioka

高松市立高松第一高等学校音楽科サクソ専攻、昭和音楽大学音楽学部器楽学科サクソ専攻、同大学院音楽研究科を修了。3歳からピアノを始めるが、中学1年の時にサクソと出会い、そこからクラシックサクソに魅力を感じその道を進む事を決意する。大学在学中にはサクソカルテットに力を注ぎ、学内オーディションに合格し学内演奏会に出演。大学内外を問わず、カルテットでの演奏活動を数多く行った。大学院では大学院室内演奏会にサクソカルテットで出演。第3回徳島音楽コンクール木管部門第2位。サクソを武藤賢一郎、小原洋子の各氏に師事。室内楽を武藤賢一郎、福本信太郎、新井靖志の各氏に師事。現在、香川県警察音楽隊に所属。



●香川で本場のクラシック音楽をお届けできるよう、これからも努力していきます。クラシック音楽を広めていけるような、活動ができればと思っています。

- デビューリサイタルに応募したきっかけは？
普段お世話になっている方々から勧められたのがきっかけです。勧められたときは、正直、デビューって歳でもないで(笑)どうしようかと思いましたが、自分の勉強してきた事を披露できる機会になればと思い、応募しました。
- 選考を通過して出演できると分かったときは、一番何を思いましたか？
うわっっっ！何歌おう!!
- 初めて人前で歌ったのは、いつですか？
中学2年の時に、香川ジュニア合唱協会のオーディションで審査員の前で歌ったのが、初めての人前ソロ演奏です。何を歌ったかも覚えていません。ですが、そのオーディションに合格したのがきっかけで、たくさんのお会い・経験があり、今も歌っています。
- 今回のリサイタルを、誰が一番観て欲しいですか？
まずは両親、そしてお世話になった方々、もちろん私のことを知らない方々にも聴いて頂きたいです。
- 今回の演奏曲目を選んだ理由は？
今まで勉強してきたことを披露できれば、と選びました。私にしか出来ないリサイタルができればいいな、と思っています。
- 最も影響を受けた人は誰ですか？
たくさんいます。一人に絞れません。
- 香川出身の音楽家として、今後どんな活動をしていきたいですか？
香川で本場のクラシック音楽をお届けできるよう、これからも努力していきます。クラシック音楽を広めていけるような、活動ができればと思っています。

- デビューリサイタルに応募したきっかけは？
たまたまサンポートホール高松へコンサートの裏方を頼まれて行ったときに募集要項を見つけて応募しました。本当に偶然です！
- 選考を通過して出演できると分かったときは、一番何を思いましたか？
嬉しい！さて、何を演奏したらお客さんが楽しめるかなー?!と思いました。
- 初めて人前で演奏したのは、いつですか？
覚えていませんが、3歳の時に祖父母の前でピアノを演奏したのが初めてだと思います。曲は、「ぞうさん」や「かえるのうた」といった童謡です！
- 今回のリサイタルを、誰が一番観て欲しいですか？
一番というのはありませんが、ぜひ楽器をやっている中高生や大学生、一般の方に足を運んでいただけたらと思っています。
- 今回の演奏曲目を選んだ理由は？
来てくれた人が楽しめる曲である事は一番重視しました。サクソ独特な演奏技法がこちらこちらにたくさんでてくるので、面白がついて聴いてくれたら嬉しいです。
- 最も影響を受けた人は誰ですか？
プロサクソ奏者の須川展也さん。中学生の時に生で聴いて衝撃を受けました。なんてなめらかでキラキラした音なんだろう！私もこうなりたい！って思いました。
- 香川出身の音楽家として、今後どんな活動をしていきたいですか？
音楽家としてはまだまだ未熟な私ですが、これから楽器の枠やジャンル、演奏する場所にとらわれず、色々なことにチャレンジしていけたらと思います。そしていつか、香川のオーケストラと共演できるような音楽家になりたいです。

瀬戸フィルアンサンブル ティータムコンサート

日時 2012年**3月2日(金)** 19:00開演 (18:30開場)
3月3日(土) 14:00開演 (13:30開場)

会場 第2小ホール
チケット 一般 2,200円 会員 2,000円 全席自由
*1ドリンク付き (コーヒーか紅茶が選べます)

【指揮】高谷 光信 【演奏】瀬戸フィルハーモニー交響楽団アンサンブル
【瀬戸フィルハーモニー交響楽団 オフィシャルサイト】<http://www.setophil.or.jp/>

主なプログラム

- アメイジング・グレイス/作曲者不詳
- アヴェ・ヴェルム・コルプス/W.A.モーツァルト
- おお、シャンゼリゼ/マイク・ティーガン
- オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲 /ピエトロ・マスカーニ
- 美しく青きドナウ/ヨハン・シュトラウス2世
- 踊り明かそう
～ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より～
/フレデリック・ロウ

ほか

2001年に誕生し、「瀬戸フィル」の愛称で親しまれている地元プロオーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団。サンポートホール高松では、開館以来、毎年瀬戸フィルの演奏会をお届けしています。今回は、2009年に初の試みとして開催し、お客様から大好評をいただいた『ティータムコンサート』が再び登場します。普段のオーケストラ公演とは違い、ティータムコンサートでは演奏家とお客様との距離が近く、奏でられる音色が全身を包みこんでくれます。会場も工夫を凝らし、いつものホールの雰囲気とはガラッと変わった印象でお迎えします。週末のお仕事帰りにリフレッシュ、そして土曜の昼下がりにはゆったり



指揮 高谷 光信
TAKAYA MITSUNOBU

大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業、キエフ国立チャイコフスキー音楽院指揮科首席卒業。指揮を小松一彦、伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、V.プラソフ、E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチの各氏に師事。これまでに「シベリア国際音楽祭」「ウクライナ国際音楽祭・キエフ夏の音楽の夕べ」「バルトケヴィッチ国際音楽祭」などに出演している。また日本国内においても、現在までに大阪交響楽団、セントラル愛知交響楽団、テレマン室内オーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京混声合唱団など、数多くのオーケストラ、吹奏楽団、合唱団を指揮している。現在、武庫川女子大学音楽学部および仁愛女子短期大学音楽学科 非常勤講師、ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団 第2指揮者。第16回京都芸術祭京都市長賞受賞。



りと、それぞれのティータムにふさわしく、ポピュラーなクラシックをはじめ、映画音楽なども盛り込んだくつろぎのアンサンブルコンサート。響き豊かな生演奏で、贅沢なひとときをお届けします。



2009年度「瀬戸フィルアンサンブル ティータムコンサート」より

サンポートホール高松 文化ボランティア活動

【公演日編】

☆ボランティアさんの1日☆

サンポートホール高松では、現在37名の文化ボランティアのみなさんに活動をしていただいています。20代から70代まで幅広い年齢層の方に登録をいただき、なかにはホール開館以来、継続している方もいらっしゃいます。文化ボランティアのみなさんには、サンポートホール高松の主催事業で、公演日の運営のお手伝いや、広報活動のお手伝いをいただいています。公演日の運営は年に10回程度、広報活動は月に1回程度の活動があります。今回は、文化ボランティアのみなさんの活動【公演日編】をご紹介します！



12:40
お客様にお渡しするパンフレットを準備します。何種類のチラシがあるんでしょう!?



12:30
開場の1時間前には集合していただきます。みなさん、今日のスケジュールと担当業務の打ち合わせをしますよ～!



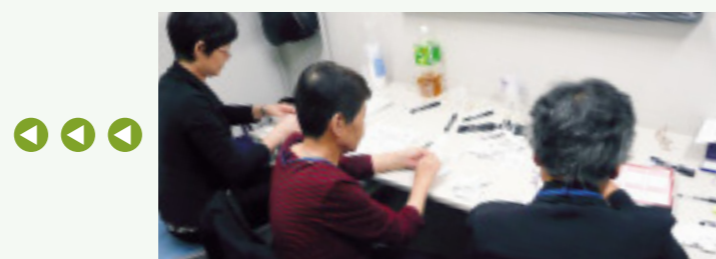
13:15
パンフレットの準備、完了です！ドーン！



13:30
いよいよ開場です！お客様をお迎えします。チケットをもぎって、パンフレットをお渡しするのもボランティアさんのお仕事です。いらっしゃいませ～！



16:00
終演後はお客様をお送りです。アンケート回収しております！ありがとうございました～！
公演前から終演後まで、文化ボランティアの皆さんなしでは公演が成り立たないほど活躍していただいています！



14:00
開演後は、半券を数えて今日の入場者数を確認！とっても大事なお仕事なんです！
公演中は、遅れて来られたお客様をお席までご案内したり、ロビーの片づけや公演後のサイン会の準備など、終演までの時間も慌たたく過ぎていきます。

平成24年度文化ボランティア募集

文化ボランティアに登録いただける方を募集しています。活動期間は平成24年4月1日～平成25年3月31日の1年間です。もちろん、継続もいただけます！あなたと一緒に活動してみませんか？詳しくは、サンポートホール高松のホームページまで！
<http://www.sunport-hall.jp/>

☆ボランティアさんの声☆

- Sさん (ボランティア歴3年目・女性)
高松市の広報で募集を見て応募しました。自分の都合の良い時だけ参加できるので助かります。新しい知り合いができて楽しいです。
- Oさん (ボランティア歴2年目・男性)
募集チラシを見て応募しました。公演の雰囲気を楽しんでいます。
- Mさん (ボランティア歴1年目・女性)
会社を退職しましたが、何か社会貢献でき、自分自身も高められるようにと始めました。感動と新しい人との出会い…自分が働いていた時と違う感触を味わっています。
- Yさん (ボランティア歴1年目・女性)
日頃お話しする機会のない方々とお話できるので、楽しいです。